2023年（令和5年）
9月22日
（金曜日）

THE KENSETSU MIRAI TSUSIN
建設未来通信

茨城全県版
発行所：茨城県水戸市笠原町1523-3
桂ビル2階
TEL:029-291-8855 FAX:029-291-8854
https://www.kensetsumirai.co.jp
新聞購読料　月額5,940円（税込）
電子版購読料　月額4,400円（税込）

総合建設業 ISO9001：2015認証取得
株式会社 横田建設
代表取締役 横田 修一
本 社/〒310-0845 茨城県水戸市吉沢町667
TEL.（029）247-0830
FAX.（029）247-9899

いばらきの公共事業
～歴史をたどり、後世に残す～
県庁舎関連事業推進室編②

県庁周辺がすばらしい景観に

新県庁舎の周辺にはホテルやマンションが建ち、ショッピングセンターやホームセンターも立地しています。戸建住宅も急ピッチで増え、4車線の両側には色々な業種の施設が日に日に増えています。県庁舎はさすがに、すごい求心力だなと思っております。（弊社HPトピックスに掲載）

茨城県のシンボルとなる新県庁舎の周辺整備のため、利便性・安全性はもちろんのこと、自然にやさしく人にもやさしい、景観にも十分配慮したインフラ整備が求められていることを認識し、事業を進めたのです。

自然にやさしいインフラ整備追求

都市計画道路水戸駅平須線と県庁南大通り線、両道路とも「県庁の顔」となるシンボルロードとして、100年体系の道路整備を進めました。道路規格は4種1級、設計速度60㎞、車道部D交通、排水性舗装、歩道部透水性カラー舗装としました。

土地区画整理地内の区画道路については、新県庁舎を囲む区画道路1号線、2号線は機動性を考慮し、県道水戸神栖線重用としました。他の3～6号線は、水戸市道としております。

新県庁舎周辺道路については、電線類地中化計画により下水道（雨水・汚水）、上水道、電気、通信、ガスすべてが地下に埋設されています。

水戸駅平須線・県庁南大通り線の歩道下には、電線類をまとめて収容する電線共同溝（C・C・BOX）を整備しました。特に頭を痛めたのは、区画道路歩道下の地下埋設物です。汚水・上水道・電気・電話・ガスそれぞれにより整備が進められ、輻輳し、交差もあり、埋設深さもそれぞれ違うことから、ばらばらに施工していたのではかなりの日時を要してしまう。どうしたら手戻りなく、それぞれ効率的・スピーディーに施工が出来るか、時間の余裕がない中で悩んでおりました。

悩んだ末に、アイデアが浮かびました。施工の際の、土の埋め戻しを最小限にする事で深い位置から順番に施工する、一番目の人は埋設後、二番目の人の埋設高まで埋め戻す。これを順番に繰り返すことで、埋設業者さんと調整を図りました。毎週定例会議を開催し、埋設の工程管理を確認したことを覚えています。

水戸駅平須線は総事業費110億円、県庁南大通り線は総事業費49億円、土地区画整理地事業費は約40億円。4年間で、これだけの事業費を確保するのは大変でした。他の事務所で使えなくなった予算は、すべてこちらに回してもらいました。主管課の公園街路課、都市整備課も本気になって国と協議をするなど、事業費の確保に当たってくれたのです。

県庁舎関連事業推進室ができて3年目、平成9年に渡邊さんが室長になり、現場は急速に動き始めました。平成10年には技術担当職員も4人から6人体制に、用地担当職員も4人から6人体制になりました。そのおかげで、残っていた水戸駅平須線の大規模家屋14件のうち、未契約9件が次々と契約となりました。

県庁南大通り線も、代替地希望の地権者の意向に添った代替地斡旋が功を奏し、契約が続きました。平成9年10月頃には、両道路とも本格的な工事の着手に入り、1工区5000万円～2億5000万円ほどの規模で、数十工区に分け実施しました。特に水戸駅平須線の工事は、交通量の多い現道を通しながら何回も切り回しを行い、なおかつ連立する商業施設への出入りも確保する複雑な工事となりました。ぎりぎりな工期の中、完成までこぎつけてくれた施工業者さんには大変感謝しております。

県庁南大通り線は、当初計画の市道笠原東野線までの1050mから延長し、市道梅香下千波線までの1680mの整備を進めました。大変厳しい工期で、最後の240mは暫定2車線での開庁になりました。ここでも施工業者さんには大変感謝しております。

平成11年4月の開庁に際しては、新県庁舎への水戸・赤塚バス路線のスムーズな運行も併せて、アクセス道路の交通ネック箇所の解消を図りました。また、市道梅香下千波線と県庁南大通り線の交差部における右折車線100mの設置、県道長沢水戸線の国道6号線タッチ部の道路改良、サントルチ波交差点の国道50号BP側道部の右折車線100m延長工事、市道赤塚南口線と県道水戸岩間線の交差点改良、県道玉里水戸線の50号BPタッチ部の道路改良など、他課にも協力してもらいながら整備を進めました。

縮尺の大きい地図を貼り付け、そこにネック箇所を落とし込み、皆で要整備箇所として認識を共有しました。室としての強い連帯感が生まれていたと思います。渡邊室長には、「仕事は目先のことばかりでなく、鳥の目で全体を俯瞰する目を持つことが重要だ」と教えていただきました。仕事の進め方を、身をもって感じることができたと思います。

4年間の期限内で完成にこぎつけられたのは、組織構成にも要因があります。用地担当と工事担当が、同じ室で担当の区別なく、一緒に連携して仕事に当りました。また、室員全員が室長のもと、同じ目標に向かって一枚岩となり、用地交渉、整備にあたったことが完成につながったと思います。

大変苦しい時もありましたが、この大規模事業に携わることで、自分自身も成長出来たこと、大変感謝しております。（島津就子）

新県庁舎周辺整備について
渡邊 一夫 氏 × 袖山 茂 氏
元県土木部長（当時・県庁舎関連事業推進室長）
元技監兼常陸大宮土木事務所長（当時・県庁舎関連事業推進室係長）

強い連帯感で見事完成
いばらきの公共事業を紐解く

働き方改革と若手育成の取組
直行直帰や勤怠管理の導入など
茨建協水戸支部／経営講習会開く

県建設業協会水戸支部（下田徳行支部長＝写真右上）は20日、建設業経営講習会「建設業の働き方改革と若手の育成（建設DXとスマホの活用）」を水戸市の県建設技術研修センターで開催した。支部員ら約50人が参加し、若手を確保するための取り組みや育成方法、労働時間短縮への取り組み、ICT活用などについて理解を深めた。

この講習会はCPDS2ユニット認定。東日本建設業保証㈱茨城支店と共催。冒頭、下田支部長は「本日は大変有意義な講習会なので、最後までしっかりと話を聞いて、会社に持ち帰って多くの人に伝えていただきたい」とあいさつ。

続いて、大貫茂男経営委員長（写真左上）が黒図茂雄氏（クロズテック㈱代表取締役、写真下）を紹介。

黒図氏は「来年から建設業にも労働時間の上限規制が適用される。今からでもまだ間に合うので、しっかりと準備してほしい」と述べ、建設業界を取り巻く状況などについて解説した。

さらに、若手を確保するため、ホームページでの動画活用や作業手順の動画作成などを提案。若手技術者の育成では、若手技術者を孤立させない、自発的な挑戦を促す、やりがいのある技術目標を設定するなどのアドバイスを送った。

このほか、労働時間短縮に向けた直行直帰制度やデジタル勤怠管理の導入、ICTを活用した生産性向上、新技術の活用などについて説明した。

㈱アバンテ
鹿嶋に事業所新設
高正建設で工事進む

物流事業やIT関連事業などを主な業務とする㈱アバンテ（大阪府松原市三宅中8－2－8）は、鹿嶋市に（仮称）茨城事業所を新設する。施工は㈱高正建設（鹿嶋市）。

建設地は、鹿嶋市平井東4－4－1地内で敷地面積は8235・63㎡。サテライトしおさい鹿島やローソン鹿嶋平井店の付近に位置する。

現在建設中の建物の規模はS造1297・24㎡。最高高さ8・3m。工事完了予定日は12月15日としている。また、敷地内には駐車場（70台分）も設ける。

なお、設計は㈲汎連合設計（水戸市）がまとめた。

緊急保証制度を開始
台風13号 被災した中小企業対象
県保証協会

県信用保証協会は、台風13号に伴う大雨災害を受け、このほど「令和5年大雨及び台風災害緊急保証制度」の取り扱いを開始した。被災した中小企業者の経営安定化や事業再建などをサポートする。

保証限度額については法人・個人が2億8000万円、組合が4億8000万円となっている。

被災した中小企業に対し、経営の安定に必要な資金等の融通の円滑化を図ることが目的。6月に発生した「令和5年梅雨前線による大雨及び台風2号による災害」の被害を受けた中小企業も対象となる。

取扱期間は2024年3月31日（保証申込受付分）まで。

問い合わせは、業務企画部業務統括課（電話029－224－7815）。

管理棟屋根修繕
10月ごろ発注へ
《常総市》

常総市は、あすなろの里（大塚戸町310）キャンプ場の管理棟屋根改修工事に向け、補正予算案第5号で約235万円を計上。議決後、10月ごろにも発注したい考えだ。

管理棟の屋根は、老朽化による雨漏り等が発生しているため、これを改善し、利用環境を整える。屋根全体の改修工事を行う予定だ。

管理棟の建物規模は、W造平屋建て、延べ面積は約60㎡。築年数40年以上が経過している。

また、補正予算案第5号では、このほかロッジトイレの修繕などにも予算が充てられている。

県土木部・幹部
きょうの動向
（○＝在庁　●＝不在）

「本　課」	午前	午後
部長	○	○
次長（事）	○	○
次長（技）	○	○
都市局長	○	○
港湾振興監	○	○
企画室長	○	○
監理課長	○	○
用地課長	○	○
検査指導課長	○	○
道路建設課長	○	○
道路維持課長	○	○
河川課長	○	○
港湾課長	○	○
営繕課長	●	●
都市計画課長	○	○
都市整備課長	○	○
下水道課長	○	○
建築指導課長	○	○
住宅課長	○	○

「出　先」	午前	午後
水戸土木所長	○	○
常陸大宮土木所長	○	○
大子工務所長	○	○
潮来土木所長	○	○
土浦土木所長	○	○
筑西土木所長	○	○
常陸太田土事所長	○	○
高萩土事所長	○	○
鉾田土事所長	○	○
竜ケ崎土事所長	○	○
常総土事所長	○	○
境土事所長	○	○